

残暑あ見舞

ゆしとげま

熱! 暑!

雨あけと共に日本全国「暑い、暑い」
「エース」そして九州の雨の降り、外の暑
いこと。どうなるか、どうなるか、どう
日、暑い日が続いても、アブラでミの事
はかまか雨けませんでした。

ニクセミが鳴いて、ミンミンゼミが鳴きは
めこそ、夏の暑さを強調する様はアブラ
ミは、人間の声と共にようやく鳴きは
める。同時にツクツクボウも鳴く。
里の昼間にもニホニホカモソカ、歩いてい
る。剣山が見かけた底、登山道のすべ
び草を喰って、二、三歩、道を
一、二メートル位まで近づいて、平気
で、春日山の底のようでした。
暑い、暑いと何回も言っても決して涼しく
なりません。

暑いと言っても、祖谷は街中の様はこと
ないのび、熱中症に倒れたいという話はい
ません。都会の町目下には、申し訳ない
です。それでは人間という生物は
「暑」のり、暑い暑い連発。

そと、今年はロンドン
オリンピックがはじまり
熱い闘いが続いている
よつぎです。

期待程の成績を残せなかった競技、柔道、
競泳の選手は、予想した人はいらぬ、ど
うか、いざいにしても、金、銀、銅メダルと
るのば、単に実力がある、確実なことは
のば、誰とも知っていないのに、銅メダル
は、同じ競技の他の選手をどうおもっている
かと不思議に感じたりします。
甲子園では、びまろ高校野球もまた熱い闘
争が続くことでしょうか。
甲子園といえは、今では俳句や書道、マニガ
甲子園もありません。

そんな暑い、暑い日々ですが、政治の世界では、
に、冷えきつて、世界です。やめる事は、政局
消費税問題、反原発、等、私達の生活に
ることは、政局の道具と化して、国民の熱
気持を、ぶつけ、かわか、もみちます。



暑の日の暑合時

暑合集暑上から
伊上、栗枝流を眺み



いと、あまり祖谷と南原は、
と書きまじらぬが、木かげに休
んで、風にふかれ、いると、風に
なることばかり。
回すく山やが草を揺らさなければ、
猿のエサとして、耕作したように
ひらくまうし、よく雨が降る
ので、草を達は、大いにええ
よく成長し、暑いことも、草刈り
し、分け、いけいけい、い
一人暑さで、せき草が、な
くありません。
とどかく、この新報読者のせい
残暑あ見舞ゆしとげま、
暑い、暑い、暑い、もうすぐ終
る、ことでしょうか、無理せ
の時を待ちましょう。